

児童発達支援事業おひさま 事業所自己評価

公表：令和4年3月7日

事業所名：花ノ木児童発達支援センター 児童発達支援事業おひさま

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	2		
	2 職員配置数は適切であるか	9	3		全体のクラス編成、それぞれのクラスの支援状況を考えて人員配置を行っています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10	1		療育室、活動スペースは、クラス全体の支援状況に合わせて構造化し、必要がある場合は、個別の状態に合わせた構造化を行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9	2		
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9	2		朝会や職員会議で、必要な提案、業務改善における意見交換は定期的に行っています。日常の業務の中でも、自由に意見を言える環境づくりを行っています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	2		年度後半に保護者の事業所評価についてアンケートを行い、内容について児童発達支援センター全体で共有し、保護者の疑問や希望に対して、応えていけるように考えています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	4		令和3年度末までにホームページで公開予定です。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	4		第三者評価は、花ノ木医療福祉センターに評価の希望を出しています。実施はセンター全体の計画に基づき行われます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	1		療育内の研修は年間計画を立てて行います。外部研修についても、必要な研修が計画的に行えるように年度ごとに検討していきます。療育についてのスーパーバイズ等組み込んでいきます。
適切な 支援の 提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	11	0		療育活動の中で、領域ごとの評価を行い、保護者の同意のもと、花ノ木医療福祉センターでの主治医・心理士・リハビリスタッフの評価も取り入れた上で支援計画を作成しています。
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	2		領域別シートにそって、複数の観点から子どもの適応状況のアセスメントを行っています。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	4		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	1		
14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	1		クラスリーダーを中心にチームでプログラムの立案をしています。	

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
適切な支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	1		クラスによっては、同じ活動を繰り返し行うことで定着を図る、目標は同じにして、活動を定期的に入れ替えるなどのクラスの目標によって、プログラムは工夫しています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	10	1		子どもの発達状況、特性に合わせた個別課題・自立課題と小グループ、クラス全体での活動を組み合わせることで支援計画を立てています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	11	0		全体ミーティングの後、療育開始前にはクラス担当者で打ち合わせをし、療育の流れや役割分担について確認・共有しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	3		複数クラスに対応している職員もおり、同時に振り返りを行うことができない時もありますが、クラスリーダーを中心に職員同士で声を掛け合ったり、メモを残したりして、共有し、次の療育に生かしています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11	0		活動の様子、個別課題など、毎回記録に残し、子どもの状況を整理したり、支援の検証をしています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9	2		児童発達支援管理責任者がクラスリーダーにモニタリングを行っています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	6	5		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	9	2		ケースに応じて、保健師、家庭児童相談室等の関係機関との連携を行っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	9	2		計画相談員、医師、地域の保健師などと連携しながら支援を行っています。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	7	4		花ノ木医療福祉センターの主治医とは、保護者の同意のもと、子どもの状態を共有しています。センター外の主治医とは、保護者、センターの主治医を通して連携しています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	4		退園して在住地域の保育所(幼稚園)へ入園する場合、連絡会等で支援内容を引き継ぎ、相互理解を図っています。保護者の希望により、保育所(幼稚園)に出向いて移行支援を行うこともあります。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	3		年長の療育終了時は、保育所(幼稚園)と合同、あるいは単独で、連絡会を行い、情報共有と相互理解を図っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	7		同じ圏域の療育施設や児童発達支援センターとも連携を図っています。今年度は大学で療育について研究されている先生から助言・研修を受けました。今後も定期的に受けられるよう検討していきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	5	5	当児童発達支援事業では、地域の保育所・認定こども園・幼稚園との並行通園が大半ですので、改めて交流の機会を持つことはありません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	6	4	地域の発達支援部会には、年2回の定例会議に参加しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11	0	0	親子通園を原則とし、療育の内容を参観してもらった上で、状況や課題について、担当職員とやり取りする時間を設けています。令和3年度は保護者の密を避けるため保護者通園日を決めていましたが、後半からは、保護者の待機場所を増やし、いつでも参観できるようにしました。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	9	2		クラスの状況に合わせ、保護者向けの学習会を企画しています。令和3年度は年長児のクラスに行いました。今後学習会等も拡大して企画していきます。
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	2		契約時に、重要事項説明書に基づいて担当者が説明をしています。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	9	2		年度の初めに個別に懇談を行い、支援計画の提示と説明をしています。保護者の質問や要望をうかがった上で、同意していただいています。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	1		
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	6	4	保護者会がないため、クラスごとの支援となります。令和3年度はオンラインで卒園児の保護者との交流会を開き、先輩保護者のお話を聞く機会を提供しました。今後も、少人数での座談会や、オンライン開催など社会情勢に合った形での開催を検討していきます。
	36 子どもや保護者からの苦情について、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	1		保護者の疑問や苦情については、迅速かつ丁寧にお話を聞いて、対応しています。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	4	4	活動概要や行事については、クラスごとに掲示やお便りて伝えています。センター全体の所内報等、入り口に掲示しています。
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	11			
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11			
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	3	6	
非常時などの対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	10	1		
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	1		消防署の指導により、年1回の防災訓練を行っています。月1回の職員会議で防災についても確認し、花ノ木医療福祉センターの部署と合同で防災会議を行っています。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	9	2		
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	1		入園前にアレルギーの有無を保護者に確認し、必要なケースについては、保護者を通じて医師の指示をおおいでしています。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	1		ヒヤリハット事例集があった場合は、花ノ木医療福祉センターと共有の書式で速やかに報告しています。月1回センターの医療介護安全管理委員会で共有しています。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	5		花ノ木医療福祉センターで行われる虐待防止の研修に、職員が順次参加しています。資料は回覧して内容を共有しています。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6	5		これまで、特に身体拘束を行わねばならないようなケースがありません。必要があれば、センター内で協議の上決定し、保護者に対しては適切な説明を行います。